

# 新型コロナウイルス感染症における感染拡大予防対策

石川県ソフトボール協会

当協会主催大会において、「ソフトボール活動再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(公財日本ソフトボール協会)を参考に以下の基準を設け大会を開催することで感染症対策に万全を期す。

## 【基本】

三つの密(密閉・密集・密接)の発生が原則想定されないこと(人と人との距離はできるだけ2mを目安に)

## 【大会参加者・観戦者・役員等関係者の対応】

- ・ 当日の来場前に各自で検温を行い、発熱(37.5 度以上)がある場合は大会への参加を取りやめる。また、咳、倦怠感、咽頭痛などの症状が感じられる場合も参加を取りやめる。
- ・ マスクの着用を徹底する。着用していない場合は入場できない。ただし、選手のプレー中は除く。
- ・ 入退場時には一般的な感染対策である手洗い・うがいを行う。
- ・ タオル、ペットボトル、コップ等の共用は避ける。(使い捨て紙コップは使用可)
- ・ グラウンド施設管理者、開催自治体及び大会主催者からの指示に従う。
- ・ 大会当日の入場者の連絡先及び健康状態は、チーム関係者(観戦者含む)分をチーム代表者が、役員等関係者・その他入場者分を大会主催者が、記録・管理する。
- ・ 監督は、選手の健康状態の把握に努める。
- ・ 大会主催者は、審判員・記録員の健康状態の把握に努める。
- ・ 大会終了後に新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合(疑いがある場合)または陽性者の濃厚接触者になった場合には、石川県ソフトボール協会事務局(河上:090-4686-4670)まで連絡する。

## 【大会運営者(主催者・主管団体)の対応】

- ・ 参加者等来場者全員に本予防対策の周知徹底を図るとともに、会場内の見やすい場所に掲示して注意喚起を行う。また、場内アナウンス等を使用して遵守徹底を呼びかける。
- ・ 大会運営に直接携わらない関係者の来場を控える。
- ・ 審判員・記録員・放送員・役員は、間隔を2m程度離す。
- ・ 既設球場のベンチが狭い場合は、ファウルゾーンに境界線(フェンス等)を設けてベンチを広げるなど、できるだけ密にならないようベンチを広く設営する。
- ・ 大会本部等に手指消毒液を設置する。
- ・ 施設管理者と協力して、各諸設備の消毒を徹底する。
- ・ 会場の状況に応じて、入場制限や人の誘導を行う。
- ・ 監督会議、開会式等は行わない。

## 【試合に関する対応】

- ・ 試合開始時、終了時の挨拶は、それぞれのベンチ前に整列して行う。
- ・ 攻守決定、打順表の確認において、主将・監督・審判員の位置は、それぞれ2m程度離れた位置に立ち、握手は行わないこととする。
- ・ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- ・ バット、ヘルメット等の共用せざるを得ない用具は、チームでこまめに消毒を行う。
- ・ 唾を吐く行為は禁止する。また、選手、特に投手は指を舐めてはいけない。
- ・ 試合中の打ち合わせは、可能な限りスピーディーに行う。
- ・ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m程度離す。試合中ベンチ内が込み合う場合は、ファウルゾーン外の場外領域において待機することを認める。
- ・ 球審はマスクまたはマウスシールドを着用する。塁審についてはマスク着用が望ましい。
- ・ 記録員はマスクを着用する。
- ・ 放送員は放送中を除きマスクを着用する。放送員が交代する場合は、マイクの消毒を行う。
- ・ 審判員・記録員・放送員の打ち合わせは十分広い場所で間隔を2m程度離して行う。
- ・ 観戦者間の間隔を空けて観戦する。
- ・ 大声、歌唱、鳴り物等での応援は禁止する。

※ この対策は感染状況等を踏まえて随時見直し運用するので留意すること。